

■札幌市公式LINEアンケート(3/29(土)～4/12(土))

○札幌市では、人口減少による担い手不足や財政の見通しを見据えながら市民サービスを維持・向上していくため、様々な観点から検討を進めております。
○中でも、雪対策は、除雪従事者の担い手不足や高齢化、物価高騰等による除雪費の増加などの課題を抱えており、早急に将来に向けた検討が必要な状況です。
○このため、持続可能な雪対策の実現に向けて、皆様のお考えをお聞かせいただきたく、この度アンケートを実施することといたしました。ご協力くださいますようお願い申し上げます。皆様の貴重なご意見は、次回の市民アンケートや、今後予定しているワークショップ等の基礎資料として活用し、さらに踏み込んだ議論につなげてまいります。

設 問	選 択 肢
Q1 性別	①男性、②女性、③その他
Q2 年代	①29歳以下、②30～39歳、③40～49歳、④50～59歳、⑤60～69歳、⑥70～74歳、⑦75歳以上
Q3 居住区	①中央区、②北区、③東区、④白石区、⑤厚別区、⑥豊平区、⑦清田区、⑧南区、⑨西区、⑩手稲区、⑪札幌市外
Q4 職業	①会社員、②自営業、③公務員、④パート・アルバイト、⑤主婦・主夫、⑥学生、⑦無職、⑧その他
Q5 居住形態	①戸建住宅、②集合住宅(アパート、マンション等)、③その他
Q6 自家用車の利用について	①有、②無、③レンタカー・カーシェアリング等をよく利用、④その他
Q7 冬の主な交通手段は何ですか？	①車、②地下鉄、③バス、④JR、⑤市電、⑥徒歩、⑦その他、⑧特にない
Q8 冬の暮らしにおけるお困りごとは何ですか？	①通勤(仕事での移動も含む)・通学、②買い物・病院・レジャーなどの移動、③道路や交差点の見通しが悪い、④雪かきの身体的負担、⑤積もった雪を捨てる場所がない、⑥自宅以外で過ごす場所が少ない、⑦光熱費、⑧その他、⑨特にない
Q9 札幌市の雪対策において強化して欲しい取組は何ですか？	①幹線やバス路線の除排雪、②地下鉄・JR周辺の除排雪、③歩道の除排雪、④生活道路(住宅街の道路)の除排雪、⑤つるつる路面対策、⑥冬の暮らしに役立つ情報発信、⑦地域の雪捨て場の確保、⑧冬の暮らし方・働き方の行動変容の促進(大雪時の外出抑制・在宅勤務促進など)、⑨その他、⑩分からない
Q10 人口減少による影響で社会全体の将来的な担い手不足が懸念されていますが、除雪作業の担い手不足に備えて、どのような対策が重要だと思いますか？	①除雪機械の自動運転などの技術革新の推進、②作業効率向上のための設備投資(雪堆積場の増設など)、③地域や市民の協力体制への支援(除雪機の貸し出し・除雪ボランティアなど)、④冬の暮らし方・働き方の行動変容の促進(大雪時の外出抑制・在宅勤務促進など)、⑤人口規模にあわせた街の規模の縮小、⑥その他、⑦分からない
Q11 令和7年度の札幌市の道路除雪予算は年間約285億円かかっています。(一般会計当初予算は1兆2,666億円)これは市民一人当たりが1万5千円を負担していることになります。この費用についてあなたの意見に最も近いものをお選びください。	5:税など市民の負担が今より増えても、雪対策の強化に費用をかけるべき 4:3と5の間 3:今のままでよい 2:3と1の間 1:ほどほどの雪対策にとどめ、かける費用を縮小すべき
Q12 雪国札幌の冬で生活するために市民一人一人が持つべき視点や心構えについてあなたの意見に最も近いものをお選びください。	5:より快適な冬の実現するため、行政のみに頼らず、市民一人一人が家の前の雪かき、砂まきを行うなど、積極的に雪対策に取り組むべき 4:3と5の間 3:現状レベルの冬的生活を維持するため、行政と市民で協働しながらできる範囲内の雪対策に取り組めば十分 2:3と1の間 1:雪国で暮らしていることを踏まえ、雪の影響による冬的生活の不便さや不自由さをもっと許容・受忍すべき